

# BONDI EFFECTS



## 2026 COMPRESSOR

### 取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)

\* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

## 特徴

- ハイパフォーマンスの「Blackmer® VCA」コンプレッション設計
- レシオ:1:1 ~ ∞:1 (25:1)、ソフトなコンプレッションからハード・リミッティングまでカバー
- スレッシュホルド:-50dB ~ 10dB
- コンプレッション時には LED が白く点灯
- Manual モード、または Dynamic モード(アタック&リリースを自動調整)切替
- アタック・タイム:0.15-15mS/dB (1.5-150mS for a 10dB change)
- リリース・タイム:1.5-150mS/dB (150-1500mS for a 10dB change)
- コンプレッション・カーブ切替(ハードニー&ソフトニー)
- レベルコントロール:20dB のカットまたはブースト
- ソフトタッチ・のバッファード・バイパス・スイッチ
- 電源:9VDC(センターマイナス)アダプター、消費電力 25 mA

## Dynamics Mode(オートモード)について

Bondi Effects 2026 では、まず”Dynamics Mode”(オートモード)をお試ください。フットスイッチを長押しして LED が「青色」に点灯するモードが”Dynamics Mode”です。

“Dynamics Mode”では、入力信号(ピッキングのダイナミクス=演奏スタイル)によって、リアルタイムでアタックとリリースの値が変化します。ラウドな信号を検知すると(ゲインリダクションが大きくなる)、アタックタイムが速め、リリースタイムは遅めの設定に自動調整されます。逆に、ソフトな信号を検知すると(ゲインリダクションが小さくなる)、アタックタイムが遅く、リリースタイムは速めの設定に自動調整されます。レシオ、スレッシュホルド、レベル、そしてコンプレッションカーブは任意の値に設定します。

ピッキングの強弱、リズムやフレージングに対して、完全に追従したコンプレッション効果が得られるため、圧縮感を感じることなく、粒立ちの良いコンプレッション・サウンドを楽しむことができます。音楽の躍動感を一音ごとに瑞々しく伝えられる”Dynamics Mode”のサウンドは、ギタリストやベーシストの表現の可能性を確実に拡げてくれます。

## Manual Mode(マニュアルモード)について

Bondi Effects 2026 を”Manual Mode”(マニュアルモード)に設定する場合は、フットスイッチを長押ししてLEDを「赤色」に点灯させます。

“Manual Mode”では、アタックとリリースを含む全てのノブとスイッチをマニュアルで設定します。アタックタイムとリリースタイムは通常のコンプレッサーに比べて可変幅がかなり広く設計されていますので、真ん中位置より低めの設定で使用するのが一般的です。これは 2026 Compressor が Dynamic モードの設計を基本としているためです。

どちらのモードでもコンプレッション時には LED が白く点灯し、スレッシュホールドに達したことを視覚的に確認することができます。

## コンプレッション・カーブについて

Bondi Effects 2026 は、スレッシュホールド付近のコンプレッション・カーブを切り替えることができます。

“ハード・ニー”設定(スイッチが下側)は、一般的なコンプレッサー・ペダルに多いカーブです。リミッティング感の強いサウンドメイクに適しています。

“ソフト・ニー”設定(スイッチが上側)では、より緩やかなコンプレッション・カーブとなるため、より自然なサウンドのコンプレッションが得られます。

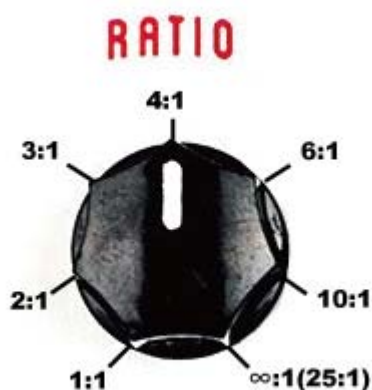
この2つのカーブ切り替えにより、さらにコンプレッション表現のパリエーションが拡がり、楽曲やプレイスタイルに最適なサウンドメイクを必ず見つけ出すことができますようになります。



## 2026 コンプレッサーの使い方

### RATIO

コンプレッション・レシオを設定します。真ん中位置でレシオ 4:1、絞り切りで 1:1 (コンプレッションなし)、フル位置で 25:1 となります。ノブ位置によるレシオ設定は以下図の通りです。



### THRESHOLD

コンプレッションがかり始めるスレッシュホールド値を設定します。スレッシュホールド値はトグルスイッチの Knee 設定にも影響します。スレッシュホールド・レベルに達すると、LED が白く点灯してコンプレッションを視覚的に確認できます。

### LEVEL

出力レベル(メイクアップゲイン)の設定を行います。ノブの真中位置が(コンプレッションがかかっている時の)ユニティー・ゲイン位置です。

### ATTACK

コンプレッサーのアタック値(コンプレッサーがかかりはじめる速さ)を調整します。ノブが最小位置でアタック・タイムが最速、最大位置で最も遅いアタック・タイムとなります。マニュアルモードではアタック・タイムがノブで可変でき

ますが、本機ではアタックタイムの可変幅がたいへん広いため、通常のコンプレッション動作ではノブ位置が最小付近で調整する事になります。これは 2026 Compressor が Dynamic モードの設計を基本としているためです。

## RELEASE

コンプレッサーのリリース・タイムの値(コンプレッションしてから元のレベルに戻るまでの時間)を調整します。ノブが最小位置でリリース・タイムが最速、最大位置で最も遅いリリース・タイムとなります。マニュアルモードではリリース・タイムがノブで可変できますが、本機ではリリース・タイムの可変幅がたいへん広いため、通常のコンプレッション動作ではノブ位置が最小～真ん中付近で調整する事になります。これは 2026 Compressor が Dynamic モードの設計を基本としているためです。



## トグルスイッチ

ATTCK と RELEASE の間にあるトグルスイッチでは、コンプレッション・カーブの設定を切り替え可能です。

“ハード・ニー”設定(スイッチが下側)では、リミッティング感の強いサウンドメイクとなります。

“ソフト・ニー”設定(スイッチが上側)では、より緩やかなコンプレッション・カーブとなり、自然なサウンドのコンプレッションが得られます。

## FOOT SWITCH

エフェクトのオンとオフを切り替えるフットスイッチです。

また、2 秒間ほど長押しする事で、2026 コンプレッサーのモードを切り替えることができます。

LED が青く点灯する時は”**Dynamic Mode**”(オートモード)です。

“Dynamic Mode”(オートモード)では、入力信号(ピッキングのダイナミクス=演奏スタイル)によって、リアルタイムでアタックとリリースの値が変化します。ラウドな信号を検知すると(ゲインリダクションが大きくなる)、アタックタイムが速め、リリースタイムは遅めの設定に自動調整されます。逆に、ソフトな信号を検知すると(ゲインリダクションが小さくなる)、アタックタイムが遅く、リリースタイムは速めの設定に自動調整されます。レシオ、スレッシュホールド、レベル、そしてコンプレッションカーブは任意の値に設定します。

LED が赤く点灯する時は”**Manual Mode**”(マニュアルモード)です。

“Manual Mode”では、アタックとリリースを含む全てのノブとスイッチをマニュアルで設定します。アタックタイムとリリースタイムは通常のコンプレッサーに比べて可変幅がかなり広く設計されていますので、真ん中位置より低めの設定で使用するのが一般的です。これは 2026 Compressor が Dynamic モードの設計を基本としているためです。

どちらのモードでもコンプレッション時には LED が白く点灯し、スレッシュホールドに達したことを視覚的に確認することができます。